

平成28年第2回竜王町議会定例会（第4号）

平成28年5月26日

午後1時00分開議

於 議 場

## 1 議 事 日 程

日程第 1 議第40号 平成28年度竜王町一般会計補正予算（第1号）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

日程第 2 議会広報特別委員会委員長報告

日程第 3 地域活性化特別委員会委員長報告

日程第 4 人口減少対策特別委員会委員長報告

日程第 5 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

日程第 6 議員派遣について

日程第 7 委員会の閉会中の継続調査の申出について

## 2 会議に出席した議員（12名）

1番	貴多正幸	2番	小西久次
3番	若井猛志	4番	森島芳男
5番	森山敏夫	6番	内山英作
7番	松浦博	8番	古株克彦
9番	菱田三男	10番	山田義明
11番	岡山富男	12番	小森重剛

## 3 会議に欠席した議員（なし）

## 4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	教育長	岡谷ふさ子
総務主監	杼木栄司	住民福祉主監	松瀬徳之助
会計管理者	犬井教子	政策推進課長	関司明德
総務課長	奥浩市	税務課長	川嶋正明
生活安全課長	込山佳寛	住民課長	心得森岡道友
福祉課長	嶋林さちこ	健康推進課長	中寫幸作
発達支援課長	木戸妙子	農業振興課長兼 農業委員会事務局長	徳谷則一
商工観光課長	井口清幸	建設計画課長	井口和人
上下水道課長	竹内修	工業団地推進課長	山路太郎
教育次長 兼教育総務課長	田邊正俊	学校教育課長	清水一範
生涯学習課長	西川良浩		

## 5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	知禿雅仁	書記	寺本育美
--------	------	----	------

開議 午後1時00分

○議長（小森重剛） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、12人であります。よって、定足数に達していますので、これより平成28年第2回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第 1 議第 40号 平成28年度竜王町一般会計補正予算（第1号）  
（総務産業建設常任委員会委員長報告）**

○議長（小森重剛） 日程第1 議第40号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

8番、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 議第40号、総務産業建設常任委員会報告。

平成28年5月26日

委員長 古株 克彦

去る5月18日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第40号、平成28年度竜王町一般会計補正予算（第1号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、5月19日午後1時より第1委員会室において、委員1名欠席のもと会議を開き、竹山町長、岡谷教育長、杼木総務主監、田邊教育次長兼教育総務課長及び関係課長等の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成28年度竜王町一般会計補正予算（第1号）は、当初予算に歳入歳出それぞれ2,408万1,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ62億6,508万1,000円に改めるものです。

主な質疑応答は、問）竜王西小学校校舎周辺地盤沈下状況調査業務委託料について、現場を見るとかなり危ない状態なので、調査の業務をしながら危険な箇所については並行して復旧するやり方はできないのか。答）現状はかなり地盤沈下がひどいので、後世に禍根を残すことのないようしっかりと多岐にわたる調査を

行い、今後の工事の進め方を精査していきます。応急復旧工事については、調査の内容によって検討します。

問) 町道中央通り線の道路改良工事・舗装他工事の160万円の増額補正は、工事区間350メートルの総予算か。答) 当初予算2,570万円に今回160万円を増額し、合計2,730万円が総予算です。

問) インター周辺の土地取得費1,430万円が計上されているが、その面積と単価は幾らか。答) 面積は220平米。単価は地目により異なりますが、安いところは6,300円、高いところは7,500円です。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長（小森重剛）** ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

日程第1 議第40号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第1 議第40号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第2 議会広報特別委員会委員長報告**

**○議長（小森重剛）** 日程第2 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、森山敏夫議員。

5番、森山敏夫議員。

**○議会広報特別委員会委員長（森山敏夫）** 議会広報特別委員会報告。

平成28年5月26日

委員長 森山 敏夫

本委員会は、平成28年第1回定例会閉会後の3月29日、4月6日、13日、20日に開催し、議会だより175号の編集作業を行い、5月1日に発行しました。

次に、本委員会は、去る4月20日、委員全員出席のもと、福岡県柳川市議会より議会広報の編集についての視察研修を受け入れ、広報編集技術のレベルアップを図ることを目的に、活発な意見交換を行いました。

次に、本委員会は、本定例会中の5月18日午前11時10分より、委員全員出席のもと委員会を開催し、広報紙面のレベルアップについて協議・検討を行った後、議会だより176号について、掲載記事の概要検討と役割分担を決めました。

議会だより176号は、平成28年第2回定例会の内容を中心に、平成28年度補正予算、委員会活動報告、一般質問、シリーズいきいき人生などで12ページにまとめ、7月1日に発行することになりました。

なお、今後の本委員会の開催日程につきましては、5月31日、6月6日、10日、13日、20日と決定しました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、議会広報特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第3 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、岡山富男議員。

11番、岡山富男議員。

○地域活性化特別委員会委員長（岡山富男） 地域活性化特別委員会報告。

平成28年5月26日

委員長 岡山 富男

本委員会は、4月11日午前8時30分より委員全員出席のもと、町執行部よ

り竹山町長、桴木総務主監及び関係課長などの出席を求め、所管事務調査を行いました。

株式会社雪国まいたけについて。

農工計画の変更と計画期間の延長実施を行ったことと、株式会社雪国まいたけが推進している企業誘致の状況について報告がありました。

主な質疑応答。

問) 山面建設委員会が農工計画の延長と四分割売却に反対している中で、4月24日に地元で総会が開催される予定であるが、総会で反対と言われたときに、町としてはどのように進めていくのか。答) 新社長も同席していただき、総会までに山面建設委員会と何度も出会って、理解を求めていくしかないと考えています。

次に、本定例会中の5月19日午前9時より委員1名欠席のもと、町執行部より竹山町長、桴木総務主監及び関係課長などの出席を求め、所管事務調査を行いました。

(1) 株式会社雪国まいたけについて。

株式会社雪国まいたけに対する要請行動と三者協議の結果と、開発に関する許可の現状について報告がありました。

主な質疑応答。

問) 1社が、本年11月に土地の引き渡しを求められておられるが、実際に11月に引き渡しが可能であるのか。答) 11月の引き渡しに向けて、時間的に余裕はない状況です。町として、県との協議や外部の審議会に承認を得ることなど日程調整に努めています。

問) 4月11日の会議で、企業誘致のためのプロジェクトチームのような専門チームを株式会社雪国まいたけがつくるとの説明があったが実際にできたのか。答) 株式会社雪国まいたけはプロジェクトチームを立ち上げ、毎週定例会議を開催し、会議内容は親会社にも報告されている。町としても進捗状況を毎週確認しています。

問) 株式会社雪国まいたけの土地を四分割するために必要な道路は、株式会社雪国まいたけがつけると言っているが、進んでいるのか。答) 道路をつくるため、今、当該土地の文化財調査の手続を行っているところです。

(2) 滋賀竜王工業団地について。

県土地開発公社が発注している事業としては、6件中、国道477号交差点工

事が2件完了し、道路拡幅工事が3月に1件着工された。

町から企業庁に施工委託している工事については、4月末までに全て完了した。

竜王町が発注している工事については、計画どおり進捗している。

新たに町事業として多機能グラウンド整備事業工事（その1）が5月中に着工され、7月には完了予定。

町道の舗装工事についても、今年度中発注予定である。

以上、進捗状況の説明がありました。

また、昨年度に予算要望活動を議員に行っていただいた結果、今年度分の予算が確保できた。来年度も調整池などの整備を行う必要があるため、今年度もお願いしたいとの依頼を受けました。

主な質疑応答。

問) 町道舗装工事の着手はいつごろか。答) 9月に入札し、12月には完了する予定です。

問) 仁殿線の管工事の進捗が遅いのではないか。答) 工業団地の造成工事との工程調整により着手がおくれています。全体工程には影響が出ないように調整しています。

問) 契約企業への引き渡しがおくれることはないのか。答) 引き渡しを前倒しするため、予定より早目に開発行為の完了検査が受けられるように進めています。

問) 工業団地が完成すれば、交通量がふえるため、祖父川左岸道路を通らないというのは無理ではないのか。答) 入居される企業の方々や企業への出入り業者には、国道477号の通行を徹底していきます。

以上、地域活性化特別委員会報告といたします。

**○議長（小森重剛）** ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、地域活性化特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### **日程第4 人口減少対策特別委員会委員長報告**

**○議長（小森重剛）** 日程第4 人口減少対策特別委員会委員長報告を議題といたします。

人口減少対策特別委員会委員長、森島芳男議員。

4番、森島芳男議員。

**○人口減少対策特別委員会委員長（森島芳男）** 人口減少対策特別委員会報告。

平成28年5月26日

委員長 森島 芳男

本委員会は、4月12日午後3時50分より第1委員会室において委員全員出席のもと、所管事務調査を行いました。

前回の委員会に引き続き、課題整理と進め方について協議しました。

今回は、人口減少の要因を徹底的に追究することが必要ではないかという考えのもと、人口減少対策について、住宅地整備などのハード面ではなく、子育て支援などのソフト面の充実について議論しました。

主な意見。

目標を持って、1つずつ減少要因をつぶしていくほうがよい。

雇用創出については地域活性化特別委員会で扱い、子育て支援に特化して調査していけばどうか。

人口減少に歯どめをかけるための若い世代の結婚、出産に絞った中で、現状・将来について、どのように考えているか、子育て支援に携わっている関係課に聞いてはどうか。

そのほか多くの意見がありましたが、委員会としては、その時々々の制度によらない従来の考えや、他市町の事例にとらわれない本町独自の特色ある対策を調査・研究・検討していくこととしました。

次に、本委員会は、5月20日午前9時より委員全員出席のもと、町執行部より竹山町長、松瀬住民福祉主監、中畷健康推進課長、嶋林福祉課長、図司政策推進課長、森岡住民課長心得ほか、担当職員の出席を求め所管事務調査を行いました。

今回は、子育て世代のニーズとその支援状況と、町内地区別の人口増減状況について調査することとし、関係課より次の説明を受けました。

(1) 子育て世代のニーズとその支援について。

竜王版ネウボラ（妊娠・出産・子育てに関連した事業）についての説明を受けました。結婚、妊娠、出産、子育ての各段階での健康診査など、保健指導、育児支援など、保育、教育、虐待防止など、療養援護、医療、経済について支援事業を展開することで、不安を持った親が安心し、竜王町で子育てしたい、住みたいと思われるようにすれば、転出する人が減るのではないかと考えている。そして、



竜王町独自の支援体制が必要と思われる。

主な質疑応答。

問) 県下の他市町にない取り組みは何があるか。答) 母子父子心身障害児福祉年金は、町単独の取り組みであり、対象児1人当たり月3,000円助成しています。これは、他市町より手厚くなっています。また、すくすく広場事業での参加対象児童については、第何子までという制限を設けていませんが、管内他市町は、第何子までと制限を設けています。

問) 住民から、もう少しこういう子育て事業をしてほしいという要望はあるか。答) 子育て世代ニーズ調査の中では、預かりの時間延長、子供が集まって遊ぶ遊具が欲しい、地域へのサロン拠点が欲しい、また、幼稚園児の保護者からは、長期休暇中も預かってほしいという要望がありました。

問) 放課後児童クラブについて、定員を超過していることについてどのように考えているのか。答) 子ども未来会議に課題として提案した。方法としては、入所の段階で制限を設けることや、全員を受け入れるとすれば、施設を増級するか、学校の空き教室で対応するのか、検討課題として協議しています。

(2) 町内の地区別人口増減の状況について。

美松台、松が丘、希望が丘、さくら団地など比較的新しい住宅地は人口がふえている。また、戸数の少ない地区においては、人口の減少が緩やかになっている。要因として、高齢者の人口比率の低い地区と思われる。

問) 小口や綾戸の減少が少ない。少ないことへの原因を聞いているか。答) 空き家になっても、転売などで新規に入ってくる方があるのではないかと思います。

問) 各地区別で減少率が高いのはどこか。答) 平成26年度までのデータで見ると、平成10年度と比較して減少率が20%を超えているのは、山中、七里、山面、川上、田中です。

問) 平成22年度に自治会へのヒアリング「自治会の健康診断」があったが、その結果はどのように生かされているのか。答) 第五次総合計画の取り組みを検証する中で、地域や町民自身が将来的な視点での話し合いなどを広げていただくまでには至っていなかったことから、今年度からは、集落への訪問も含め、地域の役員様方との調整をしていきたいと考えています。

今後、竜王町において人口減少への歯どめをするには、良好で安定的な雇用環境のもと、住環境整備や子育て支援の取り組みが進められることで、人口の流入、定着が見込め、若い子育て世代の人口構成割合が高まり、出生率が高まるよう、

今後も委員会として調査・研究を行います。

以上、人口減少対策特別委員会報告とします。

○議長（小森重剛） ただいまの人口減少対策特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、人口減少対策特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第 5 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

○議長（小森重剛） 日程第 5 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、菱田三男議員。

9 番、菱田三男議員。

○議会運営委員会委員長（菱田三男） 議会運営委員会報告。

平成 28 年 5 月 26 日

委員長 菱田 三男

本委員会は、5 月 6 日午前 9 時より第 1 委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、杼木総務主監、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、平成 28 年第 2 回定例会の提案事件について説明を受けました。

今回執行部より提案される案件は、専決処分 3 件、条例改正 2 件、補正予算 2 件、字の名称変更に関する案件 1 件、人事案件 1 件の計 9 件です。

また、竜王町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙、並びに請願の取り下げ申出書が提出された請第 2 号「谷村川支流の改修に関する請願」に係る請願の撤回についても提出することに決定しました。

本委員会は同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を 5 月 13 日から 5 月 26 日の 14 日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は、5 月 17 日午前 9 時より第 1 委員会室において、委員 1 名欠席のもと委員会を開催し、平成 28 年第 2 回定例会第 3 日の一般質問、8 議員

13問について、会議の再開時間及び質問順序等について審査決定しました。

第3日の会議は午前9時に再開し、会議は通しで行い、質問の順序は質問通告書の提出順序とすることに決定しました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

8番、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成28年5月26日

委員長 古株 克彦

本委員会は、5月19日午後1時より第1委員会室において委員1名欠席のもと、竹山町長、桴木総務主監、井口建設計画課長、関係職員等の出席を求め、所管事務調査を行いました。

所管事務調査。

1、橋梁長寿命化について。

平成25年度からの橋梁長寿命化修繕計画に基づいた補修工事の実施状況の説明を受けた。

橋の維持管理については、5年に一度程度の定期点検を実施し、日常の道路施設パトロールと合わせ、橋の傷みを早期に発見し、修繕計画を策定している。

平成26年度には、平成21年度の定期点検から5年が経過しているので、町内117橋について定期点検を実施しました。その結果、当初古い橋から長寿命化工事を実施していましたが、5年前の点検から傷みの進みぐあいの激しい橋から補修工事を実施することになりました。

27年度までに補修工事が終了したのは6橋、28年度は27年度から実施している橋を含めて8橋の予定です。

主な質疑応答。

問) 橋脚工事と上部工事とを分けて発注できないのか。答) 防護柵と本体とは分けて発注しているが、橋脚と上部は仮設工事が同一であるため、分離発注はできない。

問) 技術者が不足している中で、滋賀県では県建設技術センターが市町を応援していると新聞に書いていたが、竜王町は利用しているのか。答) 橋梁点検については、県建設技術センターに委託すると、県建設技術センターが発注し管理す

るシステムになっている。今後は、県建設技術センターを利用していく。

2、橋梁の現場視察。

①山之上橋。

平成21年度の定期点検より、5年経過した26年度の定期点検で確認された傷みの進行が激しい状況を視察しました。この橋については、今年度に修繕工事を実施する予定です。

②小口橋。

平成25年度から26年度にかけて修繕工事が完了した橋で、21年度の点検項目で全てC判定であったのが、26年度は当然全てA判定であった。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

**○議長（小森重剛）** 次に、教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

10番、山田義明議員。

**○教育民生常任委員会委員長（山田義明）** 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成28年5月26日

委員長 山田 義明

本委員会は5月20日午後1時より、第1委員会室において委員全員出席のもと、執行部より竹山町長、岡谷教育長、田邊教育次長、西川生涯学習課長ほか担当職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

生涯学習課の業務内容について。

社会教育では、次代を担う自立した青少年の育成に向けて、公民館、図書館を生涯学習の拠点として位置づけ、各学習の諸講座を初め、学校支援地域本部活動の事業や、「第2次竜王町子ども読書活動推進計画」に基づいた取り組みを推進する。

家庭教育の充実が一層必要とされる中、PTA連絡協議会との共催による「教育フォーラム」を初めとして、子育て・親育ちに関する事業を推進していく。

青少年の健全育成に関しては、教育関係機関、関係団体の活動に支えられているが、挨拶運動や少年の主張大会、スポーツや体験活動などの取り組みを通して緊密な連携を図っていく。

また、人権教育では、人権尊重のまちづくり推進のため「地区別懇談会」、「男女共同参画集会」の内容と進め方の創意工夫に努めます。

人権、福祉、環境等とのネットワークづくりを推進する。

また、学校、園、地域、行政の緊密な連携による人権教育を推進する。

そして、人権意識の高揚に向けて、人権教育を地域・団体・企業とともに総合行政として推進するため、「竜王町人権教育推進協議会」との連携強化のもと、セミナー・研修会などの充実、人権教育推進員などの研修機会の提供と内容の充実に努めます。

文化財につきましては、史跡を初めとした文化財の保存活動の推進として、国史跡雪野山古墳を初めとした埋蔵文化財の周知に向けた環境整備の実施、町指定文化財の巡回パトロールの実施、開発などによる埋蔵文化財の現地調査及び整理調査の実施、過去の埋蔵文化財調査資料のデータ化及び調査報告書の作成などを行っている。

地域の歴史に親しむ機会の充実として、歴史体験学習や学校への出前歴史授業、地域の文化財を生かした歴史文化講座なども実施していく。

社会体育では、町民の健康体力向上に向けたスポーツ活動の展開として、スポーツ活動にかかわる情報提供や、各関係機関等との連携によるスポーツ振興事業の実施、竜王町地域振興事業団との連携会議をしていく。

運動習慣の定着に向けたウオーキングの普及では、ウオーキングマップの活用による魅力的なウオーキングの提案と普及に努めている。

ラジオ体操は、夏休み体操会など、健康・体力づくりの一環として各地域で広がるよう環境づくりに努めている。

子供の体力、運動能力の向上に向けた取り組みでは、保健センターとの連携による乳幼児検診時での運動能力向上に向けた情報提供や、学校園や地域振興事業団との連携による幼児や低学年に向けた親子でできる運動遊びの普及活動や体力向上研修会の開催等を行っていくとの説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 保育園、幼稚園、小・中学校と地域や関係機関による連携のもと、体力向上を進めるためどのように取り組まれているのか。答) 幼稚園の時期からいろいろな運動に触れ、小学校で運動になじませるよう進めています。今の子供たちは、水に触れる機会が少なく水が怖い、跳ぶことはできるがボールを投げることは弱いということも聞いているので、幼稚園ではプールで水遊びをすることや、子ども会と連携してのドッジビーの練習や、小学校における10分間運動の取り組みで投げる力をつけるなど、身近なことから取り組んでいます。

問) 学校支援ボランティアで、町に対して何か要望があったのか。また、それに対する対応はあったのか。答) 学校園を含めた中で、本町では公民館の2階に

学校支援地域本部を設置しており、コーディネーターを介して地域の方に呼びかけ、学校への支援をお願いしていただいております。なお、ボランティアからの要望は聞いてはおりません。

問) 国体競技の町への招致種目は何か。また、会場はどこか。答) スポーツクライミングを招致していく予定です。現在、滋賀県と協議を進めています。会場は総合運動公園を予定しています。

主な意見。

ラジオ体操やウォーキングは、身近なところで手軽にできる体力づくりの種目です。各集落単位などで町内の環境を生かし、継続的に取り組める仕掛けづくりにも取り組んでいただきたい。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

以上でございます。

**○議長（小森重剛）** ただいま、各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。

この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、各常任委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第6 議員派遣について

**○議長（小森重剛）** 日程第6 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** 異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくようお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第7 委員会の閉会中の継続調査の申出について

**○議長（小森重剛）** 日程第7 委員会の閉会中の継続調査の申出についてを議題といたします。

各委員長から、会議規則第75条の規定によって、お手元に配付いたしましたとおり、閉会中の所管事務等の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** 御異議なしと認めます。よって、本件は各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

竹山町長。

**○町長（竹山秀雄）** 平成28年第2回竜王町議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には、提案させていただきました数多くの議案に対しまして、それぞれの委員会、また本会議にて、終始熱心に、かつ慎重に御審議を賜り、本日、全ての議案に対し、適切なる御判断にてお認めを頂戴いたしましたことに、まずもって衷心より感謝と御礼を申し上げる次第でございます。

あわせて、一般質問におきましては、議員の皆様が本町の将来に向かってまちづくりをいかに進めていくべきか等に関し、熱い思いを持ってくださっていることが伝わってまいりました。承りました御意見、御高見はしかと受けとめさせていただき、行政経営に生かしてまいらねばならないと肝に銘じたところであります。

議員の皆様には、我々行政に携わる者に対しまして、引き続き御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、開会の御挨拶でも触れさせていただきましたが、本定例会が私にとりましては任期中の最後の議会となり、残すところの日数も1カ月を切る状況となっております。8年間は長いようでもあり、民間から行政の場へ入った私ではありますが、文字どおりゼロスタートの日が続いた記憶が残っていますし、財政を初め、課題の多い本町での行政執行に当たらせていただく中、あっという間に過ぎ去ったというぐあいにも感じています。

少しばかり振り返らせていただきますと、任期中に町制施行60周年の記念す

べき節目を迎えられたこと、また、スーセイ・マリー市の姉妹提携40周年の節目が迎えられ、私自身がスーセイ・マリー市を訪ね式典に参列できましたこと、そして、一昨年には苗村神社33年の式年大祭にて祝詞を述べさせていただきましたが、私の生まれ年の数年後が1回目の式年大祭でありましたので、既に3回の大祭を経験させていただいたことになり、2回目、3回目は祭礼に直接参加させていただく形での大祭でありましたので、本町に住む氏子の1人として、この上ない誉れを感じさせていただいたものであります。

記念の行事、祭礼の節目に首長の職にありましたことに対し、感謝の念でいっぱいであり、本町の歩みが悠久のものであらねばならないこと、そして、悠久のものにするために、人々は日々の努力を積み重ねていかねばならないと、式典、行事に臨ませていただいた全ての場で強く認識いたしましたところでありました。

役場で、最初にまず取り組ませていただいたことは、財政健全化への道でありました。町内に立派な施設ができ上がり、住民の1人として、財政状況が厳しくなっているのではないかと感じておりましたが、財政の実態を見て、民間企業の実態で申し上げますならば、「これは大変だぞ」というのが率直なところでありました。想像していた以上に財政状況が厳しくなっていたのが思い出されます。

一般会計、特別会計合計して約125億円の借金があり、当時の財政当初予算規模からいたしますと、2.5倍以上の借金額であったということでございます。すぐさま、役場周辺整備のまちづくり交付金事業枠を縮小する等、大型事業の見直しに着手した次第であります。

財政健全化の取り組みに関しては、住民説明会の場を設け、町の皆様に協力と理解を求めましたが、厳しい御意見を頂戴したことも頭の中に残っておりますし、町の財政状況を数字で説明しましたところ、「町にそんな借金があるなんて信じられません」という声が多かったのも記憶に新しいところであります。

皆様の御協力と御理解を求めながら進めた財政健全化であります。今、実質公債費比率は12.7%になっておりますし、借金の額も約91億円ですので、34億円縮減できています。皆様の御協力、御理解に改めて厚く御礼を申し上げる次第でありますし、これからも財政面での諸取り組みは避けて通れない道でもあろうかと存じます。持続可能な自治体へ確かな歩みを進めるべく、議員の皆様には格段の御指導をお願い申し上げます。

住民の皆様から厳しい御意見が届く中で、私自身は、公約の1つにも財政健全



化を訴えていましたので、何としても改善の方向へかじを切っていかなければならないとの強い考えでありました。財政健全化に取り組ませていただく中、私一人の胸の中におさめていたのですが、本日は最終議会の場でありますのでお許しをいただき、皆様の前で発言させていただきます。

それは、私が先輩から述べられた言葉であります。役場へも何度かお越しになり、まちづくり論をも御教示いただいております。愛用の車を乗りかえられた後、徐々に体力が低下していかれるのが目に映ってきました。

そんな状況での中、町長室に来られたときのことであります。お声も特段力強さが感じられませんでした。が、「町長苦勞かけるね」の一言。そして、続いて、「下水道のほうは事業をしながらなのでそれほど心配してないのやが、一般会計のほうは心配しているのや」と話され、続いて、「おまはんにやってもらえないと思っている」と、これが先輩との最後の会話であり、お亡くなりになるまで会話を交わせませんでした。が、いただいた言葉で私の背中を強く押ししてもらえましたし、何よりも財政再建を強く訴える私自身が救われたように思われ、やり遂げねばの意思を強くした次第でありました。

今申し上げましたことは、皆様それぞれのお立場で受けとめていただきたいと思います。

一方、経済面では、大型商業施設アウトレットの立地、役場前に大手のスーパーマーケットの進出、同敷地内に開業医が3科開院、名神竜王インター近くにW社物流センター、鏡の工業団地にA社の進出、さらには、予定される滋賀竜王工業団地の造成開発から企業誘致へと、また、「まち・ひと・しごと創生本部」から発表のあった地域経済分析システムRESASにおいて、本町が創業比率の伸び率で全国1位となったものであります。町内の道路整備も進み、新しくかけられた4橋には、私が揮毫の橋名板がはめ込まれるという大変な榮譽に浴しておりますし、財政が厳しい状況の中で、税収増への道がひらけていく本町であると、このことは喜ばしい限りと思っております。滋賀竜王工業団地は一日も早い完成と、一日も早い優良企業の進出決定を祈念申し上げるところであります。

財政状況の厳しさが続く中ではありますが、公の施設にも、人を大切に、人を育てる方針に基づき予算を配分させていただいてまいりました。総合運動公園内にスポーツジム建設、中学校敷地内に武道交流会館の建設、竜王小学校の大規模改修及び体育館の改修、中学校の体育館の改修、竜王幼稚園のトイレ改修、公民館リニューアル事業、妹背の里屋根修理、アグリパーク竜王道の駐車場拡張整

備、共同事業としては、篠原駅周辺整備事業、近江八幡消防署竜王出張所建設、アグリパーク竜王の道の駅登録、また、かがみの里とあわせて重点「道の駅」に選定等、多くの事業を進めさせていただきました。これも、町民皆様の御心が一つになってのものと、ここに改めて感謝と御礼を申し上げる次第でございます。

行政執行に当たらせていただく中、また、それぞれの事業を展開、進行させていただく中で、たくさんの方々とお出会いました。人との出会いこそが、人生の中で一番重要なもの、大切なものと思っていますし、今、私がこの場に立っておられるのも、皆様がいてくださったならばこそと、思っているところでございます。

第8代の竜王町長に就任させていただいて、町の皆様に申しわけが立たないような不祥事案も発生いたしました。上水道量水器の期限切れ、庁舎別館の火災、中学校の灯油流出事案を初め、台風災害、火災発生、行方不明者の捜索等、それぞれの場面が次から次へと頭に浮かんでまいります。交通死亡事故が連続して発生したときがありました。逆に、今は死亡事故ゼロの日が続いています。

人の世は目まぐるしく動きます。私たちは、みずから自分たちの住む町のことを考え、常に課題解決に向かっていかねばなりません。人口問題も、農業問題も、社会保障、福祉の問題にも真っすぐに目を向けて、全住民の英知を結集していくことが本町のまちづくりに欠かせられないものと思っております。

来月は町長選挙の月であります。大切な選挙であることは言うまでもありません。町を託せる人を見きわめ、投票していただきたいと思っております。

本町の限りない発展と皆様方の御健康、御多幸を衷心より御祈念申し上げ、まことに言葉整いませんですが、お礼をあわせましての閉会の御挨拶とさせていただきます。皆様、まことにありがとうございました。

**○議長（小森重剛）** 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る5月13日に招集され、本日までの14日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要な案件につきまして、慎重なる御審議をいただき大変御苦労さまでございました。また、執行部におかれましては、この間、適切な対応をしていただきましてまことにありがとうございました。議員各位、並びに執行部各位の御協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

本会議並びに委員会において、各議員から述べられました意見や要望事項につきましては、特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願いする次第で

ございます。

さて、本年度も2カ月が経過し、第五次竜王町総合計画も成果と課題を踏まえ見直しされ、後期計画に基づいた各事業が進められつつあります。町行政執行方針では、「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」、「みんなが安心して暮らせるまちづくり」、「チャンスを活かすたくましいまちづくり」、「町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり」の4つの基本理念が掲げられています。その基本理念と、まち・ひと・しごと創生法に係る事業及び本町において策定しました地方版総合戦略に基づく事業とも一体的に取り組んでいただくことこそが、本町が抱える最も大きな課題であります。

人口減少の歯どめ、さらには若者や子育て世代が住みたくなる、住んでよかったと思える竜王町の存立となるものであります。どうぞ、この第五次竜王町総合計画の後期計画が1つずつ着実に実現できるよう、お取り組みいただくことをお願い申し上げます。

後になりましたが、先の第1回臨時会で、竹山町長が退任表明をされました。2期8年にわたり、町行政の先頭となり、数多くの事業を進めてまいられました。議会といたしましても、今日までの業績を高く評価し、町が抱える課題山積の中にあって、町の最高責任者として職務を遂行されてこられましたことに敬意を表するものであります。今後とも、健康には十分留意され、残された期間精いっぱいお勤めいただきますよう、心から望むところであります。

議員各位並びに執行部におかれましても、くれぐれもお身体を御自愛いただき、町政の振興発展のために一層の御尽力を賜りますようお願いを申し上げ、閉会に当たっての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成28年第2回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦労さまでございました。

閉会 午後2時10分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 菱 田 三 男

議会議員 山 田 義 明

議会議員 岡 山 富 男